

議会だより

北竜町議会 議会構成決まる

議長



ささき やすひろ
佐々木 康宏

副議長



ふじい まさひと
藤井 雅仁

4月1日に改選後初の臨時議会が招集されました。

臨時議長(松永毅議員)による、仮議席の指定、議長の選挙を行い、佐々木康宏議員が議長に当選しました。

その後、佐々木議長により、副議長選挙、議席の指定、常任委員・議会運営委員の選任、各一部事務組合の議員選挙、監査委員の選任、広報特別委員会と北竜町議会災害対策特別委員会の設置、閉会中の所管事務調査について可決し閉会いたしました。

就任のご挨拶

議長 佐々木康宏

何かはじまりを感じる「令和」となり、我が町北竜も春を迎え色々な始まりを迎えようとしています。この度の議会の改選にあたりまして八名の議員が新任期を迎えることとなりました。七名の議員各位におかれましてそれぞれの役割の中です。



個人は「点」組織は「線」です。個人の能力を高めていって、そして太い線にすることで議会の力が発揮されます。皆さんにお願いです、議会への傍聴へ来ていただくことや各団体との意見交換会などを継続的にいながら個を高め、議会としても能力を高めていきたいと考えていますので、皆さまのご意見・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

常任委員会及び議会運営委員会の構成

○総務産業常任委員会

- 委員長 北島 勝美
- 副委員長 尾崎 圭子
- 委員 中村 尚一
- 委員 小松 正美
- 委員 小坂 一行
- 委員 松永 毅
- 委員 藤井 雅仁



北島 委員長

○議会運営委員会

- 委員長 小松 正美
- 副委員長 中村 尚一
- 委員 北島 勝美
- 委員 藤井 雅仁



小松 委員長

**一部事務組合
議会議員**

北空知広域水道企業団

議会議員

藤井 雅仁

北空知衛生施設組合議会議員

北島 勝美

北空知圏学校給食組合議会議員

尾崎 圭子

深川地区消防組合議会議員

中村 尚一

北空知衛生センター組合

議会議員

小松 正美

中・北空知廃棄物処理

広域連合議会議員

松永 毅

同意

監査委員の選任について

議会議員選任

小坂 一行



小坂 監査委員

広報特別委員会の設置

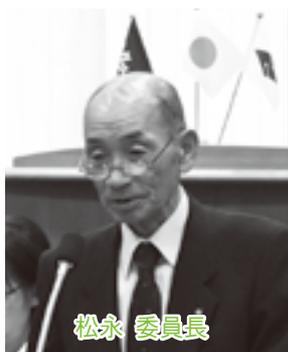
○広報特別委員会

- 委員長 小松 正美
- 副委員長 北島 勝美
- 委員 中村 尚一
- 委員 尾崎 圭子

北竜町議会災害対策特別委員会の設置

○北竜町議会災害対策特別委員会

- 委員長 松永 毅
- 副委員長 小松 正美
- 委員 中村 尚一
- 委員 尾崎 圭子
- 委員 北島 勝美
- 委員 小坂 一行
- 委員 藤井 雅仁
- 委員 佐々木 康宏



松永 委員長

一般質問

3月11日に開会された第1回定例会では、6名の議員から7件の一般質問がありました。



小坂議員

新たなふるさと納税の活用について

小坂議員

ふるさと納税制度の枠組みでの自治体クラウドファンディングは期待できるものが多く、特に補助金に頼らない独自政策の実現や、町のPRなどがあげられる。やみくもな利用は控えるべきだが、財源獲得には有効な手段である。理事者の考えを伺う。

佐野町長

現在、本町のふるさと納税は、観光、産業の振興、教育・子育ての充実、医療・福祉の充実、その他の目的の4事業に対して寄付を頂き、どの事業に活用するかは町の判断となっている。

一方、ガバメントクラウド

ファンディングはふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」を運営するトラストバンクのサービスで、用途をより具体的にプロジェクト化し、目標金額を設定し、そのプロジェクトに共感した方から寄付を募る仕組みとなっている。

全国的にも年々募集プロジェクト数が増加してきており、道内でも羽幌町や日高町など14件あり、中には数万円しか集まらなかったものから目標額を大きく上回る寄付が寄せられたものもあり、本町においても、貴重な財源として、活用に向けた検討を進めて参りたい。



北島議員

施設建設事業における地方債等の起債の考え方について

北島議員

近年、多額の予算を投じた建設事業が多い中、31年度からの10か年計画には保育所新設を筆頭に公民館や役場庁舎、公営住宅、米糶集荷施設、小中学校等の新築・改修も見込まれており、国の補助事業採択要件も厳しさを増す中、過疎債等の借金への依存が顕著になっている。基金等の積み上げも不十分であり今後、償還金圧縮が急務と思うが理事者の考えを伺いたい。

佐野町長

町保有施設の多くが老朽化による改修・更新時期を迎えており、国庫補助や交付税措置のある有利な地方債を活用するとともに、元利償還金の一部を減債基金に積み立てるなどし、町民の将来負担に最大限配慮してきた。今後、普通交付税の減少や公債費の増

加など厳しい財政状況が見込まれるが、平成31年度よりスタートする北竜町総合計画ではそれらに最大限配慮した計画となっており、公共施設の統廃合による総量の削減、再配置、効率的かつ効果的な老朽化対策を推進し、持続可能な町民サービスの提供に努めていきたい。

北島議員

近年の起債の多くは過疎債であり、元利償還金の70%が償還年ごとに交付税措置されるメリットはあるが、30%は町費による借金であり、高額な建設費を精査し抑制すれば起債額も低減され財政的にも余裕ができると思う。

佐野町長

現在、福祉や教育に関することは殆どが過疎債を利用しているが、30%部分は後年負担にならないよう減債基金に

積んでいる。過疎債は時限立法であり、いつまで続くかは分からないが、町が抱える課題解決の為に一番有利な起債であると思っている。保育所の建設についても同様に考えている。

北島議員

10か年計画では最終的に財政の帳尻が合っていてよく仕上がっているが、年々、各種基金額は減少し起債額が増加している現状で、町が持つ7つの特別会計への一般財源からの繰入金や指定管理委託料の増加、振興公社への補填など現実的には不安要素が多い。今は、町民が意図していない



小松議員

北竜町に残る映像・文献の保存について

小松議員

町で保有する過去の写真等はそのように保管されているのか。また、町民が処分する、あ

高額な造成計画より突発的な災害等にも即時対応できるような財源作りが必要と考える。

佐野町長

町長就任以来、公約に沿って進めてきた。保育所建設もその一環であり財政的見通しがあつての事。過去にも町民の負託に応えるべく、財政の厳しい時期に突発的な事業を行なうなど、過疎債を様々な分野で利用し町民負担の軽減を図りながら町づくりを行なってきた事も理解していただきたい。

北島議員

今以上に民意に寄り添った事業推進に努めて頂きたい。

佐野町長

1点目の質問について、町における「文書管理」は、北竜町処務規程に基づき、各課で作成された文書等、事業ごとに簿冊により管理され、保存期間（永久、10年、5年、1年）により保存されている。特に町史編纂、広報ほくりゅうに使用された文書や写真は「永久」に保存されることとなり、今後とも、適正な文書管理に努めたい。

2点目については、町民より貴重な資料のご寄付を頂き、郷土資料館等で展示させていただいているところである。

図書館においては、北竜町開拓100年記念行事（平成3年）、文化祭等の映像を保管している。これらの貴重な資料については、後世に継承することが大切であり、今後資料の収集と保存に努めたい。

更に、町民の皆さんが所有している写真、映像、録音テープや文献については、歴史的に振り返る貴重な資料となり得るのか調査・確認し、対応していきたい。また、個人

情報を含む資料については、個人情報保護法や北竜町個人情報保護条例にのっとり、自治体で管理することが適正なのか、否かを判断することが必要であると考えている。



松永議員

新保育所の建設対応について



メーカーの保証期間、建物が2年となっている。

南波企画振興課長

11月、12月に行った町行政懇談会で保育所2件、公園1件の質疑、意見があり返答した。

松永議員

基本設計当初から、豪雪地に不適切なデザインについて指摘してきたが、どう対応するのか。また新保育所の名称を「和保育所」から広域的な

「北竜保育所」に変更すべきと考える。

高橋副町長

屋根は無落雪設計ではあるが景観上、適時除雪を行い、窓についても常時視界が取れるよう対処していく予定。

佐野町長

名称の変更は現時点考えていない。

松永議員

今後、他の方から要望があれば柔軟に対応して頂きたい。



佐光議員

冬でも快適に過ごせる町を目指して

佐光議員

今回は、町民であれば誰でもが恩恵を受けられ、他の町にもない除雪対策を願う。

当地域は永久に雪が降る町であり、いかにこの雪を克服するか、住民の悩みである家の門戸通路だけでも支援策で解消し、冬期間でも快適に過ごせる町を目指して頂きたい。

そのことよって、町のイメージアップはもちろん、住民の安全・安心な生活が図られ、移住・定住等の促進、転出防止にも繋がると考える。

支援方法は、起債（過疎ソフト）対象になるので、70%は国の地方交付税の対象となり、残り30%は公平性からも自己負担にすることよって、町

費なしで行える。このことよって、冬期雇用や事故防止等にも繋がるだけに是非、実現に向けて取り組んで頂きたい。

佐野町長

北国の冬の生活を快適に過ごすために、除雪等の支援策を講じることが最も大切なことと考える。また、町づくりのイメージアップにつながり、移住・定住、転出防止にも繋がるものと考えている。かかる費用は、過疎ソフト事業として70%は国の負担、30%は自己負担で全世帯を対象とするということであるが、それぞれ住環境が異なることや住民に対しての公平感が得られるか等、課題が多く、今後、役場内の関係する課で横断的に検討して参りたい。

なお、新年度では高齢者世帯等除雪費助成事業において、年齢要件を70歳から65歳に引き下げ、1シーゾンの除雪委託費1/2、2万円を上限に拡大するよう予算計上しており、そのことについてもご理解をいただきたい。

松永議員

昨年末の行政懇談会や年明けの保育所建設にあたっての2度の説明会でも隣接される公園も含め多くの批判が寄せられたと思うが、町民の理解を得るためにどの様な説明努力をしてきたのか。また、この建物の保証期間や事故等があった時の責任の所在はどこにあるのか伺いたい。

佐野町長

以前から必要性を説明してきたが、説明会等では色々な意見を頂いた。賛否を含め十

杉山保育所準備室長

保証期間については、屋根の防水施工が10年、機器類が





藤井議員

ひまわりの里の 施設について

藤井議員

ひまわりの里の展望台については今年度、老朽化により解体して今後、新設される訳だが、一年間は展望台が無くなることになり、観光客の多くが利用を楽しみに行っている大変重要な施設である。何とか今年一年、応急処置をして対応できないか再度検討して頂きたい。出来ない場合、仮設足場などで展望台を設置することも必要と考えるが理事者の考えを伺いたい。

佐野町長

現在の展望台は平成18年に建設され、10年以上が経過し老朽化が著しく、都度修繕を行っていた。また、高さがひまわりを見るには高すぎる、車いすでの利用ができない、階段が一箇所混雑し危険である等から、平成31年度において、外部の有識者等を

招き、町民やひまわりの里に

関する方が参加する検討委員会を立ち上げ、施設面や経営面も含めた「ひまわりの里基本計画」の策定を行いたいと考えている。

その計画の中で、新しい展望台はどうあるべきか検討を行い、平成32年度に新しい展望台の建設を行いたいと考えており、平成31年度については展望台解体後、更地とし、仮設足場による展望台の設置等は考えていないので、ご理解いただきたい。

藤井議員

新しく計画される展望台に期待したい。

次に里の浄化槽工事についてだが、タンク製造も含めて工期が四ヶ月という事だが、現在、タンク上部のコンクリートの上ではテントが張られ休憩場・喫煙場として利用し

ているが、タンクをトイレと切断して、内部汲み取り、水張りをして、里のオープン中上部を利用するか、また、オープン前に解体する場合にはテントを張る場所をどのように考えているか伺いたい。

細川産業課長

工期については、解体を含めて考えているが、ひまわりまつり終了後、解体するという事も十分に考えて協議していきたい。



藤井議員

碧水地区の4町内会 合併による施設について

藤井議員

少子高齢化による人口減により、四町内会が多面的に連携する為に合併される。

この度その準備として、碧水高齢者コミュニティセンター改修工事が、15,581千円で計画されている。四町内会で協議がされ、拠点となる施設を決定された事と思う



し、町有駐車場とすべきと考えているが、理事者の考えを伺いたい。

佐野町長

来年1月1日に合併を予定している碧水、岩村、古作、共栄の四町内会の合併準備委員会より、昨年九月に高齢者コミュニティセンター改修の要望を頂き、企画振興課と地域役員が、現地にて具体的な改修内容について打ち合わせし、新年度予算にて改修工事を計上させていただいた。

合併準備委員会からは増築では無く、高齢化対応のバリアフリー化、防寒断熱対策、和室・研修室の内部改修等となっております。施設の今後の利用を鑑み、要望されたものと考えている。駐車場を含む外構工事については、合併後の使用状況から判断し、地域と協議して参りたい。

藤井議員

次に地域には大きな建物・敷地の碧水生きがいセンターがあるが、改修等によりもつと利用しやすい施設として利用する検討はされたのか伺いたい。

高橋副町長

行政からは碧水生きがいセンターの利用はできないか提案した所だが、合併委員会、地域より、街中の高齢者コミユニティセンターを改修して利用したい意見を聞いている。

中村総務課長

併せて、増築の話もさせて頂いている。3月1日現在で、四町内会合併で三百六十四人となり、和本町よりも大きな町内会になる。しかし、老人会、婦人会等に分かれて集まり、町内会の人が一週に集まることは無いとの事である。



今年4月より新たな議会の体制で今後4年間の町政を進めることとなります。この議員コラムも全議員が持ち回りでコメントを書くことになり、それぞれの考え方、個性が反映されることと思います。毎月の議員がどんなコメントを書くのか、楽しみに読んで頂きたいと思います。

4月1日に新たな元号「令和」が発表されました。令和に込められた意味をそれぞれの人があらゆる視点から解釈されていますが、これから私達国民がその真の意味を創り上げて行くものと思っています。何よりも平和で、日本人であることに喜びを感じられる。そんな世になることを願っています。
(小松正美)

議員の賛否の公表

(北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています。)

平成31年第1回定例会 (会期：3月11日～19日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議案名	北島	藤井	小松	佐光	小坂	松永	山本	佐々木
専決処分の承認を求めることについて 〔平成30年度北竜町一般会計補正予算(第7号)について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
専決処分の承認を求めることについて 〔北海道市町村総合事務組合規約の制定並びに廃止について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町表彰条例に基づく表彰について(5名)	○	○	○	○	○	○	○	-
町道の路線廃止について	○	○	○	○	○	○	○	-
町道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	-
都市と農村交流センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町災害対策本部条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町町立診療所事業特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成30年度北竜町一般会計補正予算(第9号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑3件	質疑0件	質疑0件	質疑0件	質疑0件	質疑0件	質疑0件	-

次ページに続く



平成31年予算審査特別委員会（3月14日～15日）

※予算と決算は特別委員会にて審議します

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長の為賛否無し

▽委員会付託案件	北島	藤井	小松	佐光	小坂	松永	山本	佐々木
北竜町総合計画について	△	○	○	○	○	○	-	○
北竜町森林環境基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について〔北竜町老人福祉センター〕	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について〔北竜町老人憩の家〕	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について〔北竜町農畜産物直売施設〕	○	○	○	○	○	○	-	○
平成31年度北竜町一般会計予算について	△	○	△	○	○	○	-	△
平成31年度北竜町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
平成31年度北竜町立診療所事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
平成31年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
平成31年度北竜町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
平成31年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
平成31年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
平成31年度北竜町簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
予算審査特別委員会における質疑の件数	質疑 5件	質疑 5件	質疑 13件	質疑 2件	質疑 7件	質疑 11件	-	質疑 3件

○予算審査特別委員会における議員質疑（意見付与・修正を求めた質疑）

質 疑 内 容	答 弁 内 容
<p>・町内会への活動支援について 人口減少、高齢化により各町内会の運営に苦慮している状況であり、特に冬期間の除排雪に係る経費負担が大きい。各町内会にあるコミュニティーセンターや高齢者住宅駐車場など町の公共施設の除雪費用を住民負担+町予算化という考え方を問う。</p>	<p>コミュニティーセンターの除雪においては各町内会の管理で行ってもらっている状況である。現在、総務課で各町内会の会計状況、会費等を調査している。町内会における除雪費用の割合が大きいということで、今後、町の除雪体系なども考慮しながら検討していきたい。</p>
<p>・公園整備事業について 新保育所と共に整備する公園については、近隣には住宅があり、花粉や落ち葉の問題もある。また、人口減少問題もとらえた保育所建設政策の一面からも、まず必要な事業ということで住宅用地にしていく事も一つの方向性と考えが理事者の考えを問う。</p>	<p>今後、高齢者の方々が増え、高齢者住宅へ入居する等によって空き家や空き地が増えていくことが予想される。現在、市街地においても空き家や空き地があり、分譲地を設けても売れ残ってしまうことを危惧しており、現状は空き家や空き地を改修してもらい移住・定住に対応していった後に分譲地の検討をしていきたい。</p>
<p>・ひまわりの里基本計画策定委託料について 町の考え方を明確に示した基本設計を策定し、パブリックコメントもしくは町民説明会等を経て町民意見を反映した実施計画を策定していただきたい。</p>	<p>4月下旬より検討委員会を立ち上げ、4～5回程度会議を行う予定で進めたいと考えている。委員については観光協会や売店組合、青年部等の関係者になっていただき、町民からも意見を取り込めるような形で行って進めたいと考えている。</p>